

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for 'きらり健康プランの進行管理事業' and '健康づくりの推進'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about health promotion plans and implementation steps.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various indicators (e.g., 活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 29, 30, 01, 02, 03 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (expenses) for 29, 30, 01 years, categorized by source (e.g., 国庫支出金, 事業費計) and personnel (正規職員従事人数).

Table comparing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円) with line items like 報酬, 需用費, 委託料.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 01, 02, 03 years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists main tasks like 市長マニフェスト, 未来PJ事業, etc.

事務事業名	きらり健康プランの進行管理事業	事務事業No.	10201000322	所属課	健康推進課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成20年3月に桜川市健康増進計画を策定。平成25年度は中間見直しを実施し、本計画の改訂と新たな食育推進計画及び歯科保健計画を一体化させ「きらり健康プラン」をH26年3月に策定した。平成28年4月改正自殺対策基本法が施行、翌29年7月には自殺総合対策大綱が閣議決定された。自殺対策基本法では、市町村の自殺対策計画策定が義務付けられた。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	きらり健康プランの策定により、改めて市の健康課題が明らかにされたので、関係機関や団体とできるだけ連携や協力を図り推進して欲しい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	進捗管理の精度を上げるためには、各指標値を継続的に把握する必要がある。現在は市民アンケートで指標の一部を把握するにとどまっており、その他の指標についてどのように把握していくか検討する必要がある。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市第2次総合計画の施策に「健康づくりの推進」が設定されており、健康づくり全般の方向性や目標を定めるきらり健康プランを策定及び計画に沿った事業を実施することは、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	早期から生活習慣病予防し、健康の保持増進を図ることで医療費の軽減につながる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市民健康講座の開催回数が増えたため、参加者数も大きく減少した。健康づくりの意識向上のために、市民のニーズに合わせた関心の高いテーマを選定することで参加者数の増加を目指す必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	計画に基づいた生活習慣病予防による健康の保持増進事業を進めることは、疾病の一次予防に繋がるものである。事業を休止することで重篤な生活習慣病にいたる市民が増加すれば、経済的にも社会的にも大きな損失を招くことになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	健康増進計画・食育推進計画・歯科保健計画の3計画(次期計画は母子保健計画及び自殺対策計画を含む5計画)を一体化させ、具体的な健康づくり活動目標を示している計画なので統廃合はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	計画の進行管理については予算化していない。平成30年度及び31年度の2か年で第2次計画を策定するにあたっては、委員報酬及び委託料を予算化しているが、必要最低限の措置であって削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民誰もがライフスタイルに合わせた健康づくりができる計画である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	次年度予算及び事業計画時に事業の振り返りを実施し方向性を検討している。次期計画の策定作業を行うにあたり、計画の進捗状況を再確認し、今後の方向性について検討した。 ※現計画期間：平成26年度～令和元年度 第2期計画は令和2年3月策定予定で、現在作業中																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
国のプランや指針等と照らし合わせ、基本理念や指標を検討し協議会に諮る。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																							
	コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>